

職場のエネルギーを!!

ぼやけた革新の旗色

だがエネルギーは摩滅せず

甲斐 私たちは昨年の師走の七日に三池闘争二十周年記念集会を開催して、三池闘争のもつ意義と教訓を見直し、改めて八一年以降の闘いに対する決意を固めたばかりですが、今一度昨年一年間を振り返り、そして今後の課題について話し合っていたきたい、こう思うのですが、



甲斐さん

での敗北で、いっぺんに守勢にまわってしまった。今村 防戦一方だから、市成 国全体として右傾化して、それがはからずとも八〇年代の幕明けとなってしまう、問題を残しました。革新の旗色はぼやけてしまっている。でも事実を掘り下げてみると、その得票からすれば自民党とはならないのでは

どこへいつたのか六〇年代の怒り

今村 何といっても一番の問題は、昨年の衆・参両院ダブル選挙での革新勢力の敗北、自民党が圧勝したことですよ。その結果がいまの国政の実態になっている。政治の反動化、軍国主義の復活。田中 とはいえ、現実には怒りというものがいもない。政治の場で噴き出さない。「安保と三池」の闘いに象徴される、あの六〇年代の怒りはどこへいったん

新年座談会

出席者

今村 俊夫 四山・練社員
田中 則幸 三川・仕練員
原 美代子 本所・看護婦
市成 義弘 港務・操車係
司会 組織部長 甲斐俊久



田中さん

市成 それもあるでしょう。会社は新入社員は必ず二泊三日くらいで自衛隊に体験入隊までさせながら、教育をやっています。座談会で参加者が語っているのが、規律や仕事への気もちのち方などに心を向けています。さらに会社がやっている生産性向上運動についても、生産性を上げれば、即自分たちへの分けまえ

用者がふえたことが、原因としてあるかも知れませんが。

相変らずの貧乏で 感覚は中流生活

あやふさぎな錯覚をもちかねないでしょう。しせん働く者の気が、労働協調主義の方へ流れていく。

甲斐

みれば、各企業で首切りや合理化はともやられていて、それでいて怒りがなく、考えれば、今はほいほいものが何でもあるから。田中 うちでは息子と娘が二人大学にいます。子がともたは自分たちの家の暮らしを中流だと思いついて、親にすれば、相変らずの貧乏だのに。



原さん

以前と今とは、ものの豊かさが増えています。子どもたちも、六〇・七〇年代は自転車だったのが、今はバイク。それもローンに頼れば手帳に買えます。バイクにかざらず何でもありますが、そのために現実には借金背負っているというのに、気分だけで中流感覚をもっています。暮らしのアンケート用紙が配られてくると、つい「中流」実際に、井原の家庭でも食べ

指一本切つても出勤

反省会で本人の責任に

「迷惑かけてすまん」と……



今村さん

(三池労組は参加していない)、なに迷惑かけてすまん」と、しグループのなかの誰かがケガしたとします。すると、そのグループを集めて反省会をさせて「対策はどうしたらいいか」を討議させる。ZD運動が形を変えたものですが、「ケガは本人が悪かった」となってしまう。ケガした者も「自分の不注意のために、みんな

みんな考えてよう

突破口は荒尾市長選

今村 私は保安の仕事を担当するようになってから五年になるが、初めのころこんな話を聞いていた。坑内で仕事に骨折した新労組員が、リヤカーに乗ってまで出勤した。今は、そんな話が三池労組のなかにも聞かれるようになってきた。甲斐 それでも、労働協調にいつてもはじまらない、いきお闘争から始まって、荒尾市長選に気もちが向いてしまふ。それに会社もまた職制を使って、職場の要求を先取りしては、労働

御礼

病氣入院中の吉田元参議から「芳志

ありました。

封筒の裏に「福岡市博多区吉田戸二丁目、石原病院内」としたためられているところ

によると、病氣のため入院中と察せられます。それだけの吉田法晴さんから思いがけない多額のお芳志が、組合に寄せられました。添えられたお手紙のなかに、「会社の差を心から祈りする別待遇で、組合員六百名、経費にお困りと承り、失礼でいただきます。ありがとうございます。年賀状も失礼します」と

去月十六日、元参議院議員の吉田法晴さんから思いがけない多額のお芳志が、組合に寄せられました。添えられたお手紙のなかに、「会社の差を心から祈りする別待遇で、組合員六百名、経費にお困りと承り、失礼でいただきます。ありがとうございます。年賀状も失礼します」と

三池炭鉱労組



写真は、兵庫県国民春闘会議（奥茂吉議長）が、師走に神戸の東遊園地で、闘う中小労組支援のために催した「もちつき大会」。三池のCOオルグ（原田久男さん・緒方昌司さん）ともに三川）もよろこんで参加。キネをとっているのは緒方さん。三池の火がたぎる。